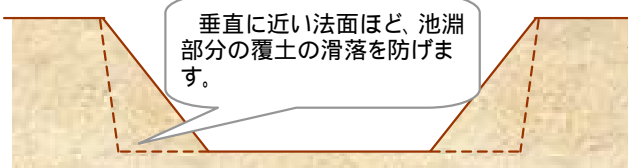


1. 掘削・床堀

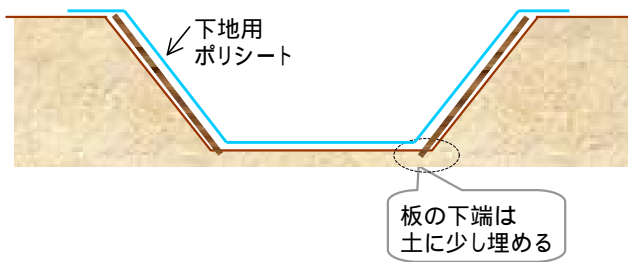
水際を水平に掘り下げます。掘削重機使用時は、平爪を使い丁寧に掘削してください。法面、底面に十分な転圧を行ってください。



・法面は少し角度をつけた方が転圧がしやすく、また、パラシール施工に適します。(きれいな法面ならば 垂直でも良い)

2. 下地処理

ガラ・石などを除き、きれいな法面・底面を作り、下地用養生ポリシートを貼ります。

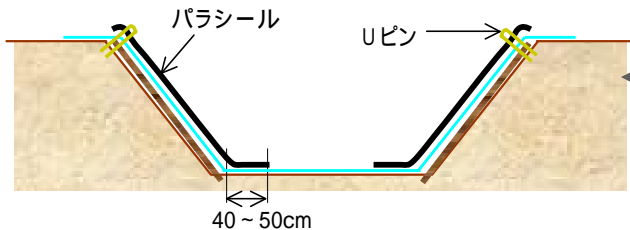


・きれいな法面が作れない場合は板などを利用します。その際、板と法面のすき間は最小にします。(板の角でシートを傷つけないよう注意)
 ・下地用養生ポリシートは全体広めに貼ります。(特に下地が濡れている場合(湧水)には不可欠な工程です。)

3. パラシール 遮水シート貼り

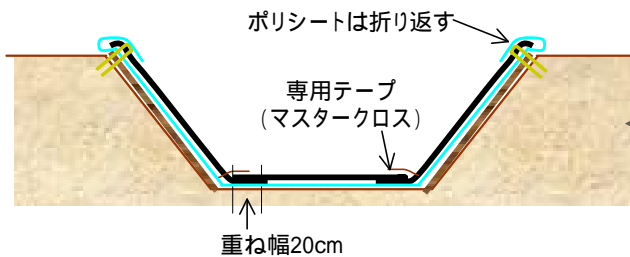
配管などの構造物がある場合は、2.3の工程は異なります。漏水防止のため、「管まわり施工手順」資料を必ずご参照の上施工ください。

法面施工



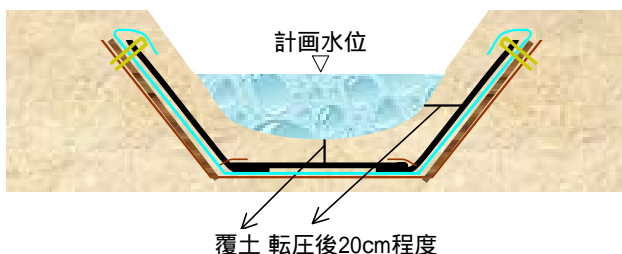
・パラシールの貼り方は、黒い面(高密度ポリエチレン部)が水側、ベントナイト面が土側です。
 ・法面に貼ったパラシールの上端部は専用のUピンで留めます。

底面施工



・パラシールの継目は平面部分とし、20cm幅重ねます。
 ・継目は専用テープ(マスタークロス)で貼り、覆土が侵入しないように完全にふさぎます。
 ・下地面ポリシートは、Uピン部分に出ているパラシール上端部を包むように池の内側に折り返しておきます。

4. 覆土・水をためる



・パラシールの上に覆土をし十分に転圧します。
 ・計画水位は、パラシール上端部より必ず下にします。